

ネパールは、標高8,000m級の山を8峰有するなど自然の豊かな国で、日本からも多くの観光客・登山客が来訪しますが、未だにアジア最貧国の一つであり、一人当たり所得707ドル（2012年）に留まっています。10年にわたる内戦や新憲法発布による政治的な混乱、2015年のネパール大地震など頻発する自然災害、社会インフラの未整備など開発を妨げる課題も抱えています。JICAは「持続的かつ均衡のとれた経済成長の実現」を目指し、道路・電力・水道等のインフラ整備や民間セクター開発のための支援、法整備などの国家・社会の枠組み作りや行政能力強化に関する支援、農業・教育・保健等の地方部における貧困削減のための支援を行っています。また専門家、技術者、ボランティアなど、日本人の真摯な活動は、ネパールの人々から高く評価され、両国間の友好と信頼関係の礎となってきました。JICA事業を通じて日本で学んだネパールの人たちがももって来ている5,500人を超えており、これらの人々が社会の様々な場所で活躍しています。

ネパールでのJICA草の根技術協力事業例

- ・ポカラ市北部における住民参加型地域保健活動を軸とした持続可能な母子保健プロジェクト（実施団体：駒ヶ根市）
- ・ネパール農業高校の教育強化プロジェクト（実施団体：信州大学）
- ・安全な出産のための母子保健改善事業（実施団体：駒ヶ根市）

ブータン王国はヒマラヤ山脈の東端に位置する人口約70万人の内陸国で、経済成長のみに偏重せず国民が幸福感を持って暮らせる社会を目標とする「国民総幸福量（GNH：Gross National Happiness）」を開発の基本理念として掲げていることで知られています。豊富な水資源を活かした水力発電による経済成長を遂げており、2011年の一人当たりGNIはUS\$2,130と中所得国の水準となっています。一方で、都市部と農村部の生活水準の格差は依然として大きく、近年は急速な都市化に伴う都市環境問題、雇用創出、経済基盤の脆弱性等が課題となっています。JICAは、ブータン政府の重点分野も踏まえ、(1) 農業・農村開発、(2) 経済基盤整備、(3) 社会開発、(4) ガバナンス強化、を柱として支援を展開しています。ブータンで「JICA」はとて有名です。ボランティアをはじめとする草の根の活動が、ブータンの人々の生活に近い場所で展開されており、人々は親しみを以て日本を愛してくれています。

ブータンでのJICA草の根技術協力事業例

- ・ソーシャルインクルージョンによる障がい者支援プロジェクト（実施団体：石川県 社会福祉法人 佛子園）
- ・手すき紙の産業振興（実施団体：島根県 石州和紙協同組合）
- ・ポプシカにおける地域に根ざした持続可能な観光の開発プロジェクト（実施団体：東京都（公社）日本環境教育フォーラム）

# HYMALAYAN FILM FESTIVAL

ヒマラヤ映画祭



2018  
1. 21  
SUN

世界のとっぺんで生きる人々から学ぶ、ほんとうの豊かさとは？

- 2018年1月21日（日）13:00～17:15●●
- 長野市勤労者女性会館しなのき ホール●●
- 入場無料・お申込み不要●●

BHUTAN



主催



駒ヶ根青年海外協力隊訓練所  
(JICA 駒ヶ根)

2016年 石川 梵監督

世界で  
いちばん美しい村

NEPAL 

◆共催  
(公財)長野県国際化協会

◆後援  
長野県 長野県教育委員会  
長野市 長野市教育委員会  
日本国連協会長野県本部  
信濃毎日新聞社  
青年海外協力隊長野県OB会

◆お問い合わせ先

JICA長野県デスク  
TEL:026-235-7186  
jicadpd-desk-naganoken@jica.go.jp  
〒380-8570  
長野市大学南長野692-2  
県庁東庁舎1F  
(公財)長野県国際化協会内

◆JICA駒ヶ根ホームページ  
<https://www.jica.go.jp/komagane/>

◆JICA駒ヶ根メルマガ  
ご登録ください！  
下記アドレスへ「メルマガ希望」とお書きの上、ご連絡ください。  
jicakjv-kouhou@jica.go.jp  
◆facebookページもご覧ください！  
 JICA 駒ヶ根

